

## 地域間交流研究 II

### 1. テーマ

西尾張・岐阜市地域の伝統的祭事ライブ中継ネットワーク化における意義と展望  
越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割  
(対象地域：一宮市、稲沢市、津島市、岐阜市)

### 2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 谷口 庄一  
(大同大学工学部建築学科 非常勤講師・株式会社リージョナルブレインズ代表取締役)

共同申請者 塚本 久美  
(株式会社 アイ・シー・シー メディア推進部)  
鷺津 丈晴  
(株式会社 アイ・シー・シー メディア推進部)

### 3. 期間

2015 年 6 月から 2016 年 3 月まで

### 4. 目的

ケーブルテレビと言うミドルメディアが地域の伝統的祭事やイベントをネットワーク化しライブ中継することで周辺地域相互の理解を深めるきっかけとなる。西尾張・岐阜エリアのネットワーク中継は 2013 年度から開始され、その現状と課題、展望、将来の災害対応についてシンポジウムによって明確にする。

### 5. 実績概要

一宮駅前ビル大会議室にてシンポジウムを開催。事例報告として「一宮七夕まつり（一宮市）」「国府宮はだか祭（稲沢市）」「尾張津島天王祭（津島市）」「道三まつり（岐阜市）」「濃尾大花火（岐阜市）」での中継状況を取り上げる。

これらのライブネットワーク中継実績について、I C C（一宮市）、C C N（岐阜市）、稲沢 C A T V、クローバー T V（津島市）の 4 局への事前ヒアリング調査結果を踏まえて関係者による現状と課題、展望について討議を行う。

### 6. 今後の展開

西尾張地域は名古屋をハブとしたスポーク状に発展を続けており、「西尾張地域」としての意識が薄いエリアである。近い将来起きるとされている東南海地震などの大規模な自然災害などが生じた際に被災地や被災住民にとって地域情報の共有化の必要性は、阪神淡路大震災や東日本大震災で証明されている。ケーブルテレビによる祭事情報ネットワークと西尾張地域と岐阜市地域との県境域連携への影響を検証し、大規模自然災害に対するケーブルテレビの役割について展望と課題について研究を進めていく。

### 7. 実施状況

名称：西尾張・岐阜市地域の伝統的祭事ライブ中継ネットワーク化における意義と展望／越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割  
日時：2015 年 10 月 30 日  
場所：尾張一宮駅前ビル（i-ビル）2 階大会議室  
基調講演：「県境を越える地域づくりの展望」戸田敏行 地域政策学部教授

#### パネルディスカッション

コーディネイター：谷口庄一（大同大学工学部建築学科非常勤講師）

パネリスト：鷺津丈晴（株式会社アイ・シー・シーメディア推進部 企画グループ 主任）、榎本誠一（稲沢シーエーティーヴィ株式会社 業務部）、飯田浩平（西尾張シーエーティーヴィ株式会社 営業企画編成グループ）、市橋大輔（シーシーエヌ株式会社 経営企画戦略室課長）、畑中美香（中京テレビ放送株式会社 東京制作部 部長）

全体の参加状況（上記および関連会議等も含めた、全体の数を記載）

区分	機関数	受入人数			延べ人数		
		外国人	若手研究者	大学院生	外国人	若手研究者	大学院生
学内（代表者法人内）	1				7		
国立大学							
公立大学							
私立大学	1				3		
大学共同利用機関法人	1				2		
公的研究機関							
民間機関	3				3		
外国機関							
その他	5				5		
計		0	0	0	20	0	0